

田中喜四郎 たなか しじろう 詩人、評論家。明治二十二年九月二十日(廣島縣)生れ、昭和五十年七月二十一日没(一九〇一七五)。筆名珍赤彦、田中清一。明治大學生英法科、東洋大學生哲学科、早稲田大學生英法科卒。廣島臨港土地社長、のち相談役、宇野学園理事等を務めた。日本詩人クラブ、廣島ペンクラブ会員。

詩集『夢みくはひけなひりか』(田中清一名、昭和二年八月二十日春陽堂)、詩劇集『戀の黄昏』(田中清一名、昭和二年九月十日詩神社出版部)、『馬糞と星』(田中清一名、昭和四年十一月二十五日春陽堂)、『戦争と戦争』(昭和十一年五月五日廣島・日本社「戦争ブツレット」)、『戦争の神々』(昭和十二年四月二十日廣島・日本社「戦争ブツレット」)、『夕時雨』(昭和十五年五月十日廣島・百姓社「百姓新書」)、『苦悶の花』(昭和二十七年七月十日国文社)等の他、『日本米道論』(昭和十五年八月二十日十字屋書店)の著者である。

